

大滝根川流域ガイドブック

—植物編—



はじめに

みなさん、休みの日に遊びに出かけるというと、たいていの方は車にのって遠くの山や海、テーマパークなどへ行きたいと思います。でも、もっと身近に楽しめることはたくさんあります。みなさんが住んでいる大滝根川流域には、すばらしい自然がたくさんあります。自分たちの住んでいるところをよく知って、良いところは大切に守ってほしいと思います。

この本は、みなさんが近くの野山に出かけるとき、また自分たちの住んでいるところについて知りたいときに、使ってください。

平成 17 年 5 月

さくら湖自然環境フォーラム実行委員会

会長 三春町長 鈴木 義孝

もくじ

しぜん かんさつ 自然を観察するときは？	1
おおたきねがわりゅういき 大滝根川流域ってどんなところ？	3
おおたきねがわりゅういき しょくぶつ 大滝根川流域の植物	5
ほん この本にでてくる用語について	7
おもな植物群落	9
トピック1 みはる まわ しょくぶつ か 三春ダムができて周りの植物は変わったの？	15
し き しょくぶつ 四季でみられる植物	17
はる しょくぶつ 春にみられる植物	17
トピック2 はる ななくさ 春の七草	33
なつ しょくぶつ 夏にみられる植物	34
あき しょくぶつ 秋にみられる植物	47
トピック3 あき ななくさ 秋の七草	63
ふゆ しょくぶつ 冬にみられる植物	64
きしょう しょくぶつ 希少な植物	67
き か しょくぶつ 帰化植物	77
おおたきねがわりゅういき き か しょくぶつ 大滝根川流域でみられる帰化植物	78
てんねんきねんぶつ き 天然記念物の木	87
さくいん	91

しぜん かんさつ 自然を観察するときは？

やま かわ い 山や川に行く

- ・ 行き先をお家の人に告げて、ひとりでは出かけないようにしましょう。
- ・ 動きやすい服装で出かけましょう。
- ・ 山の急な斜面や川の深いところなど、あぶないところには近づかないようにしましょう。
- ・ ゴミを捨てないで、持ってきたものは持ち帰りましょう。

しょくぶつ かんさつ 植物を観察する

- ・ むやみに草を抜いたり、枝を折ったりしないようにしましょう。
- ・ かぶれるウルシの木やとげのある花、マムシ、ハチなどに十分気をつけましょう。
- ・ 野生の動物や野鳥は、人が近づくとこわがるので、おどかさないようにしましょう。



ヤマウルシの木



クマイチゴのとげ



タラノキのとげ



マムシ



オオスズメバチ

しぜんかんさつ いく ときの ぶくそう
自然観察に行くときの服装

かばん

の飲み物や^{まかん}図鑑などを持って行くときは、リュックサックやウエストポーチなど、手が自由に使えるものにしましょう

ぼうし
帽子

^{あたま}頭があつくならないように、また、虫に刺されないようにするために、かぶりましょう

ぶく
服

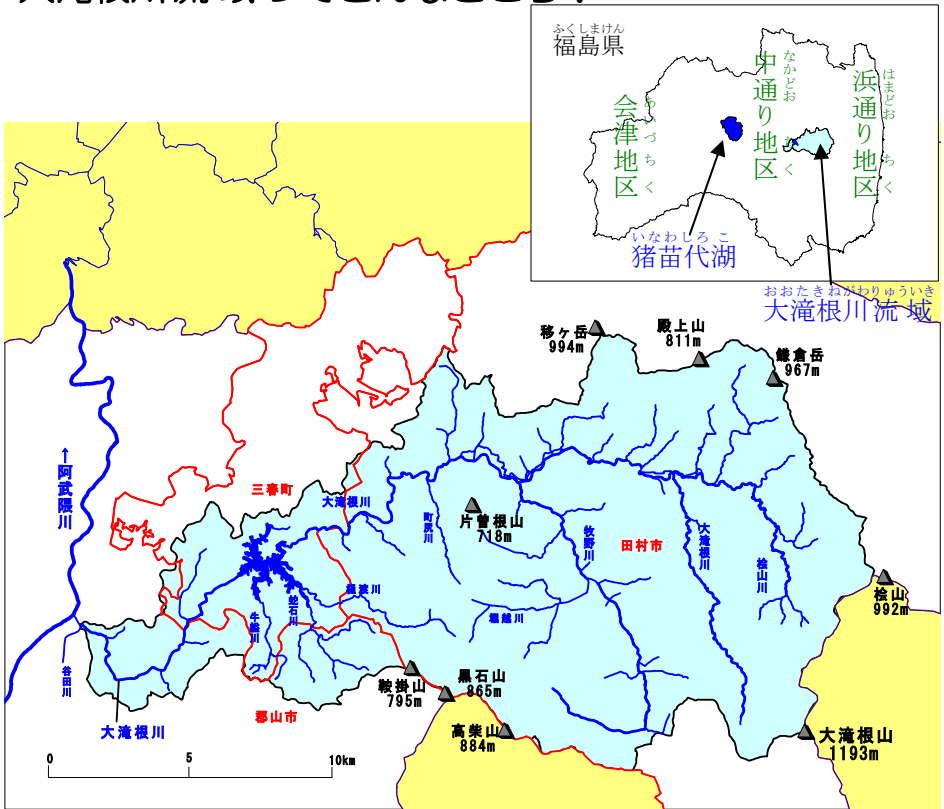
^{むしき}虫刺されやけがから^み身を^{まも}守るために、^{なが}長そで、^{なが}長ズボンにしましょう

くつ

トレッキングシューズやスニーカーなど、歩きやすいものにしましょう
^{みずべ}水辺に行くときは、^{なが}長ぐつをはきましょう



大滝根川流域ってどんなところ？



1. 位置

おおたきねがわりゅういき
 大滝根川は、福島県中通り地方の中央から少し東にある大滝根山 (標高1193m) から流れて、阿武隈川に注いでいます。大滝根川流域とは、上の絵で水色にぬられたところで、雨が降ると大滝根川にその水が注ぐところです。大滝根川流域は、大滝根山、桧山、鎌倉岳、移ヶ岳などの標高が900 mくらいの山にかこまれた場所です。平らなところとよならかな丘があり、それらのあいだに木の枝のように谷が広がっています。

2. 地質

大滝根川流域の地質は、ほとんどが中生代につくられた花崗岩類です。中生代とは、恐竜がたくさんいた時代で、人間がこの世に生まれるずっと前のたいへん古い時代です。大滝根川流域の花崗岩類は、昔から、昼間は太陽の熱であたためられて、夜は寒くなることがくりかえされ、少しずつボロボロになり（風化）、表面が砂のようにマサ化しているところが多いです。



花崗岩



マサ化している

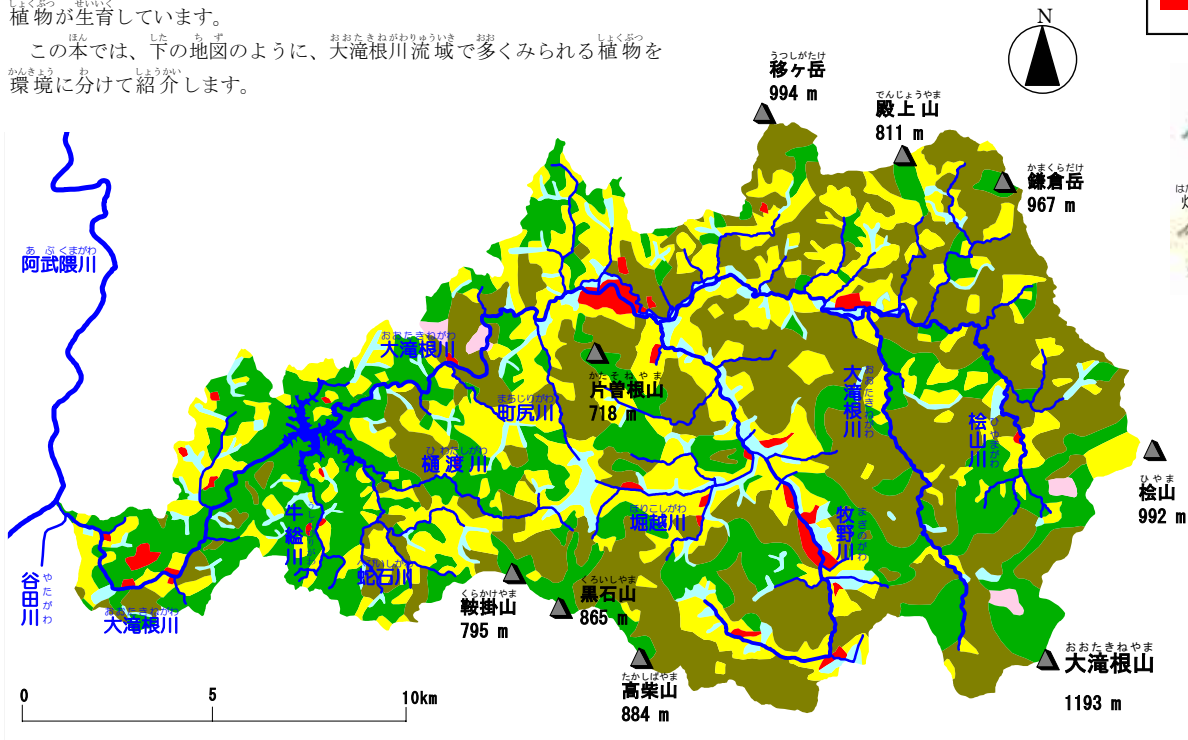
3. 気候

大滝根川流域は、あたたかい海岸性の気候の浜通り地区と大雪が降る寒い会津地区の間にあり、年間を通して変化に富んだ気候を経験することができます。1日の平均気温は、夏で23℃くらい、冬で0℃くらいです。雨の量は、1年の合計が1100～1200 mmで、全国的にみると少ない地域です。

おおたきねがわりのゆういき しよくぶつ 大滝根川流域の植物

大滝根川流域は、山にかこまれていて、平らなところもあれば、山になったところもあり、また、大滝根川にそそいでいる川もたくさんあります。このようにいろいろな場所があるため、大滝根川流域にはたくさんの植物が生育しています。

この本では、下の地図のように、大滝根川流域で多くみられる植物を環境に分けて紹介します。



凡例 (はんれい)

- コナラの林
- スギ・マツの林
- 田んぼ
- 畑
- 市街地 (しがいち)



この本にでてくる用語について

高木

高さが10mをこえる木で、林の中では屋根のようになっている木。

低木

高さが1～5mくらいの木。

草本

植物のうち、木とコケ以外のもの
で、ここでは草をさす。

落葉

秋になると葉が落ちて、春に新しい葉がでる。

(例：コナラ、サクラ)

常緑

秋になっても葉は緑色のままで落ちない。

(例：スギ、アカマツ)

針葉樹

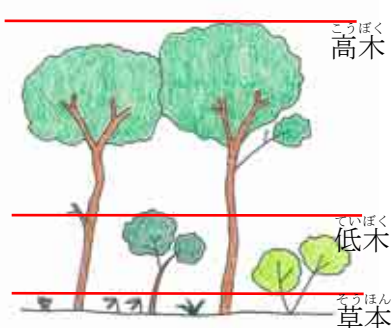
スギやマツのように葉が針のように細長い木。

(例：スギ、アカマツ)

広葉樹

葉の形が広い木。

(例：コナラ)



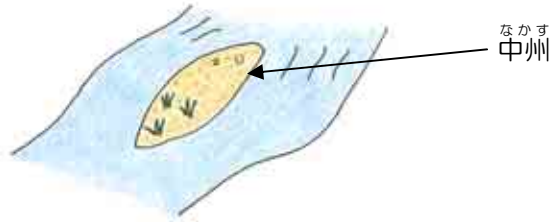
スギの葉 (針葉樹)



コナラの葉 (広葉樹)

なかつ 中州

川の中にある陸で、島のようなもの。



きゅうこうでん 休耕田

田んぼでイネをつくらなくなったところで、湿地のような環境になっているところが多い。



ちかけい 地下茎

地面の中にある茎のこと。ジャガイモのいも（塊茎）や玉ねぎ（りんげい茎）なども、地下茎の一種。

おもな植物群落 しよくぶつぐんらく

コナラの林 はやし



コナラが^{おお}多くある^{はやし}林で、^{おおたきねがわりゆういき}大滝根川流域の^{きゅうりょうぶ}丘陵部に^{ぶんぷ}分布しています。木の^き高さは^{たか}15mくらいで、コナラのほかには、クリ、ウワミズザクラ、^{ていぼく}低木はヤマツツジがあります。草本は^{そうほん}チゴロリ、コバギボウシなどがあります。

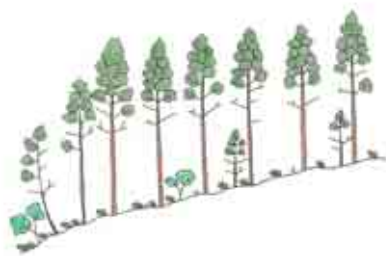
スギ・マツの林 はやし



スギ

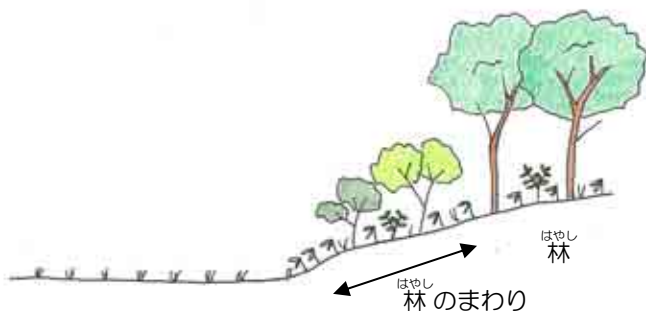


アカマツ



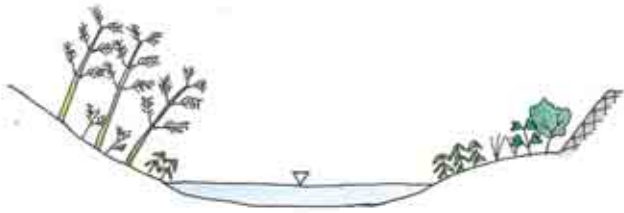
おおたきねがわりゅういき おか ちようじようちか では、丘の頂上近くにアカマツが分布するほかは、
しんようじゆりん しよくりん ち の多くはスギの植林地です。コナラの林にまぎって はやし
きゆうりようぶ ぶんぶ に分布しています。木の高さは 20m くらいで、低木はヤマ ていぼく
ブキ、ウリカエデなどが多く、草本は量が少ないですが、シダがみ おお そうほん りよう すく
られます。

はやし
林のまわり



はやし きょうがい ぶぶん おおたきねがわりゅういき しゃめん たい ちけい
林の境界の部分で、大滝根川流域では斜面から平らな地形にな
るところです。多くの林はたんぼや畑へとつづいており、林のま
わりのひあたりはよく、はやし なかとはちがったしょくぶつ は
フジ、ノイバラが多くみられます。

かわら
川原



おおたきねがわりゅういき かわ かわぎし
大滝根川流域の川は、川岸がコンクリートになっているところも
ありますが、かわら なかす すな ぶぶん
川原や中州に砂がたまっている部分は、ツルヨシ、ス
スキ、ネコヤナギなどがみられます。

た
田んぼ



きゅうこうでん
休耕地

おおたきねがわりゅういきでは、かわぞ た 田んぼがぶんぶしています。た 田んぼにはイネがう植えられています、あぜには、ヨモギ、タネツケバナなどがみられます。

きゅうこうでんは、た 田んぼでイネをつくらなくなったところで、しつちのようになっており、コガマ、サワヒヨドリなど、しめ 湿ったところにせいいく 生育する植物がみられます。

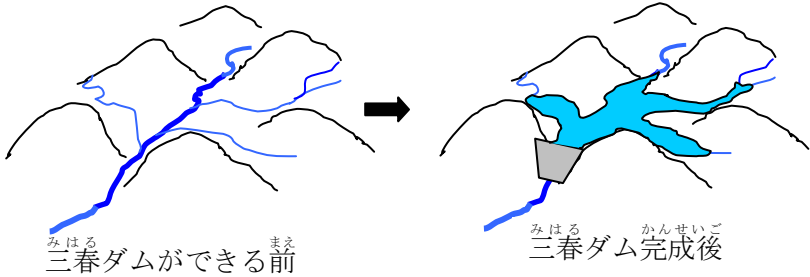
はたけ
畑



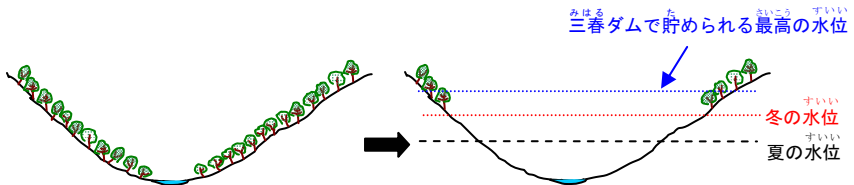
おたきねがわりゅういきでは、じゅうたくちしゅうへんきゅうりょうぶたにあいだ
大滝根川流域では、住宅地周辺や丘陵部から谷の間のなだら
かな丘におか、はたけ、くわばたけ、ぶんぶが分布しています。ダイコンなどのさくもつあいだ
にスギナ、ホトケノザ、ツユクサなどがみられます。

トピック1

みはる 三春ダムができて まわりの しょくぶつ 植物は変わったの？



いままで川が流れていたところに、ダムができて大きな湖ができました。それによって周りの植物は変わったのでしょうか？ダムができる前からの変化をみてみましょう。

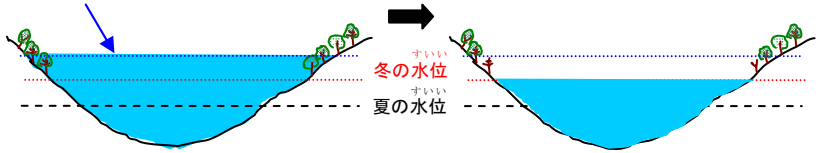


ダムができる前の林

みはる 三春ダムは、なつ ふゆ すいい ちが 夏と冬で水位が違うのを知っていましたか？大雨の多い夏の間は、ダムにたくさんの水を貯めて、洪水を防ぐことができるように、水位を下げています。

ダムに水を貯める前の平成7年秋、冬の水位になるところまで、木を切りました。

三春ダムで貯められる最高の水位



平成8年10月から水を貯め始め、平成9年の12月、最高の水位まで水が貯まりました。

長い間、水に浸かった樹木や草は枯れてしまい、その後、クマイチゴなどが生えてきました。

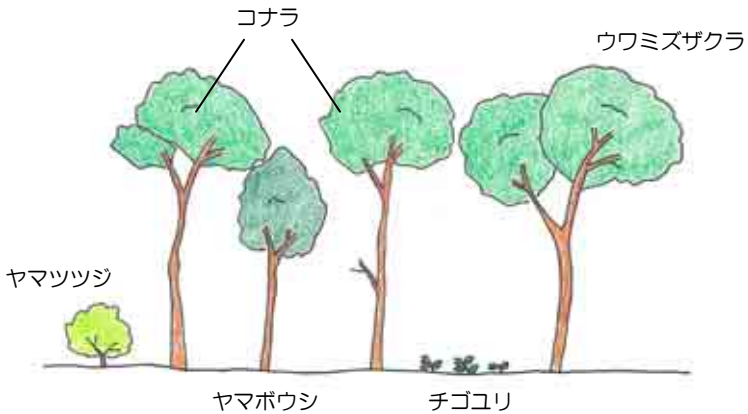


斜面上のほうの少しだけ水につかった部分は、樹木は枯れないで残り、成長量もダムができる前とあまり変わりませんでした。

し き 四季でみられる植物

はる 春にみられる植物

はやし コナラの林



コナラ

ブナ科

ぶんぶ 分布：北海道～九州

はな 花期：4月～5月

おたきねがわりゆういき 大滝根川流域の林を代表する樹種です。葉は、桜の花が終わる頃にいっせいに開きます。秋になると、コナラの実はドングリになります。

OY



NO

OY

ウワミズザクラ

バラ科

分布：北海道～九州

花の時期：4月～5月

落葉の高木で、日当たりのよい谷あいや沢の斜面に生育します。花は、葉のあとに咲き、白い小さい花が房状につきます。



NO

SK

ヤマボウシ

ミズキ科

分布：本州・四国・九州・

琉球

花の時期：6月～7月

写真の白い花びらのようなものは、花をかこんでいる葉です。いちごのような赤い実は食べられます。



NO

ヤマツツジ

ツツジ科

ぶんぶ ほっかいどう なんぶ きゅうしゅう
分布：北海道南部～九州

はな じ き
花の時期：4月－6月

ていぼく はやし なか せいいく
低木で、林の中に生育します。

はな あか いろ
花は、赤むらさき色のものが
多いですが、白色のものもあり
ます。



MH

チゴユリ

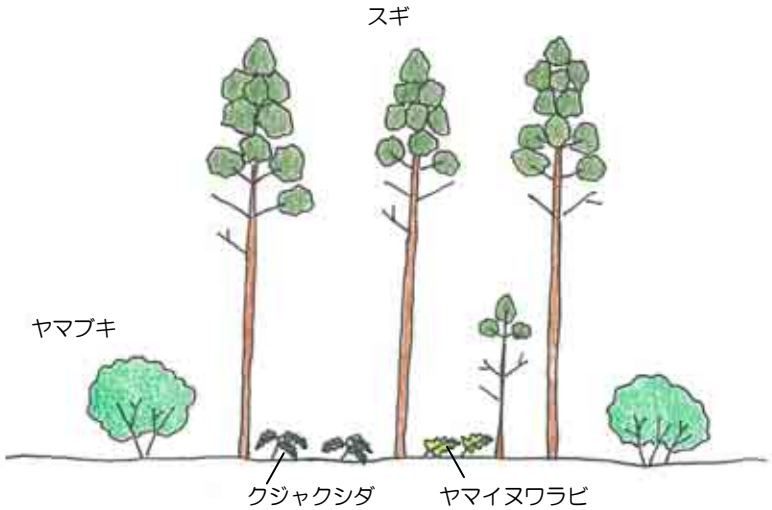
ユリ科

ぶんぶ ほっかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

はな じ き
花の時期：4月－5月

はやし なか たねん そう
林の中にはえる多年草で、
なんねん せいちよう ちい
何年もかかって成長して、小
さくてかわいい花をつけます。

はやし
スギ・マツの林



ヤマブキ

バラ科

ぶんぶ ほっかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

はな じき
花の時期：4月～5月

はる やま で かけると きいろい はな
春に山へ出かけると黄色い花
がよく 目立ちます。俳句では
春の季語になっており、多くの
名句があります。



0Y

クジャクシダ

ホウライシダ科

分布：北海道・本州・四国の
一部・福岡県

クジャクが羽をひろげたよ
うな形をしています。見た目が
きれいなので、観賞用として
育てられることも多いです。



0Y

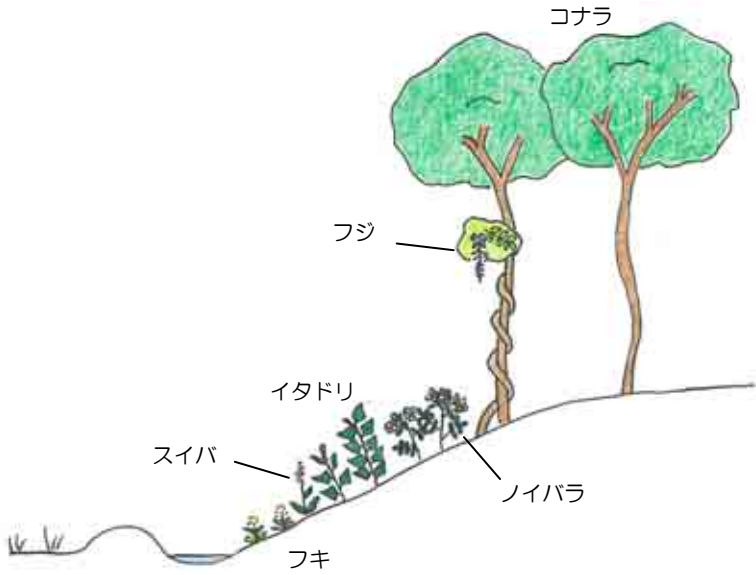
ヤマイヌワラビ

メシダ科

分布：北海道～九州

林の下でふつうにみられま
す。茎が赤むらさき色になる
のが特徴です。

はやし
林のまわり



0Y

フジ

マメ科

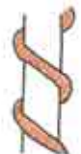
ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

はな じき
花の時期：5月

らくよう ひじょう
落葉のつるで、ときに非常に
おおがた
大型になります。フジのつる
ひだりま
は左巻き、ヤマフジのつるは
みぎま
右巻きです。



ヤマフジ
22



フジ



OY

ノイバラ

バラ科

分布：^{ぶんぶ}北海道^{ほっかいどう}西南部^{せいなんぶ}～九州^{きゅうしゅう}

花の時期：5月－6月

^{しろ}白い^{はな}花^がいっぱい^{さき}咲き、^{あま}甘^ずずっぱい^{よう}よい^いにおい^ががします。^く茎^{には}とげ^がいっぱい^{ある}ので^{ちゅう}注意^{しま}しましょう。



NO

イタドリ

タデ科

分布：^{ぶんぶ}北海道^{ほっかいどう}～九州^{きゅうしゅう}・奄美^{あまみ}
^{しよとう}諸島

花の時期：7月－10月

^{わか}若い^く茎^はタケノコ^{によく}にいます。^お折^{って}皮^をむ^{いて}食^べられます。



OY



OY

OY

フキ

キク科

分布：^{ぶんぶ}本州^{ほんしゅう}

花の時期：^{はな}4月^{じき}－5月

新芽は「ふきのとう」とよばれ、てんぷらやフキみそとしてもおなじみです。また、大きくなったフキは茎を煮たり、炒めたりして食べます。



OY

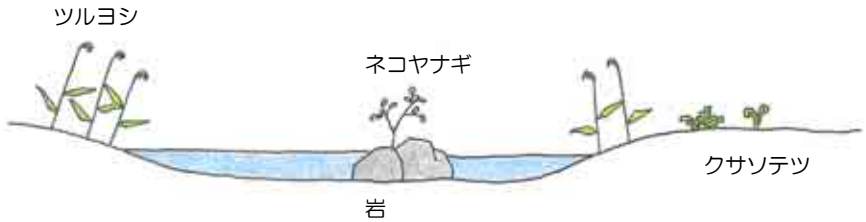
スイバ

タデ科

分布：^{ぶんぶ}北海道^{ほっかいどう}～九州^{きゅうしゅう}

花の時期：^{はな}5月^{じき}－8月

「スカンボ」として知られており、折ってかじったことがある人が多いでしょう。すっぱい味がするので、「酸い葉」からスイバという名がついたそうです。



0Y

ツルヨシ

イネ科

分布：本州～九州・琉球

花の時期：8月～10月

おたきねがわでもっともよく自立
つのがツルヨシです。春はまだ
前の年の株が枯れ残っていて、
そこから若葉がでてきます。



ネコヤナギ

ヤナギ科

分布：北海道～九州

花の時期：3月～4月

水辺の岩のあるところによく生えます。花は葉より先に、春の早い時期に咲きます。高さ1～2mの低木です。

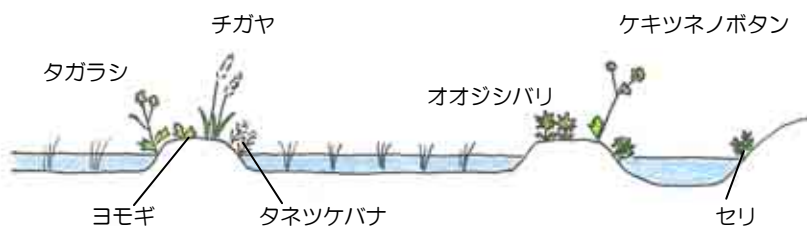


クサソテツ

イワデンダ科

分布：北海道・本州・九州

若芽は「コゴミ」とよばれ、おひたしやてんぷらにして食べられます。



セリ

セリ科

ぶんぷ にほんぜんど
分布：日本全土

はな じき
花の時期：7月－8月

はる ななくさ
春の七草のひとつで、やわらかい新芽をつんで、おひたしにして食べます。



OY

タネツケバナ

アブラナ科

ぶんぶ にほんぜんど
分布：日本全土

はな じ き
花の時期：3月－6月

いね たね もみを みずにつける ころに
はな を 咲かせる と ころから 名が
つきました。



NO

タガラシ

キンポウゲ科

ぶんぶ にほんぜんど
分布：日本全土

はな じ き
花の時期：4月－5月

くさぜんたいのかたち
草全体の形はキツネノボタン
ににっていますが、実はながまる
です。



OY



OY

チガヤ

イネ科

分布：日本全土

花の時期：4月－6月

チガヤの花の基部には白い毛がたくさん生えていて、花がおわって実になると、タンポポのように風によって飛ばされます。



SK

オオジシバリ

キク科

分布：北海道西南部～琉球

花の時期：4月－6月

湿ったところが好きで、たんぼのあぜによく咲いています。茎を切ると、白い液が出ます。



OY

ヨモギ

キク科

分布：本州^{ぶんぶ}～九州^{ほんしゅう}・小笠原^{きゅうしゅう}
諸島^{おがさわら}

花の時期^{しよとう}：9月－10月

白い綿毛^{しろわたげ}におおわれた新芽^{しんめ}をつんで、草もちや草だんごの材料^{ざいりよう}にします。



OY

ケキツネノボタン

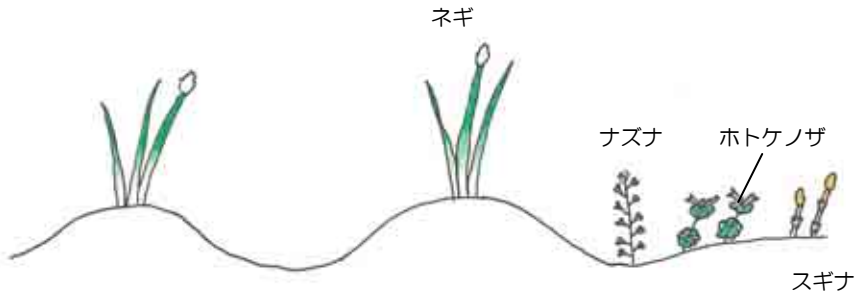
キンポウゲ科

分布：本州^{ぶんぶ}～沖縄^{ほんしゅう}

花の時期^{おきなわ}：3月－7月

葉の形^{はかたち}がボタンの葉^はとにているところから名^ながつけました。実^みの形^{かたち}はコンペイトウによくにしています。





0Y



0Y

スギナ

トクサ科

ぶんぶ ほんかいどう きつなんしよとう
分布：北海道～薩南諸島

スギナというとピンとこない
かもしれませんが、これは^{はる}春
に^{みち}道ばたや^{かわら}川原に出ているツ
クシです。はかまをとって、
^{つくだに}佃煮にして^た食べられます。



NO

ホトケノザ

シソ科

分布：本州～琉球

花の時期：4月～6月

半円形の葉が向かいあってついている形が「仏の座（仏像の台座）」ににているところから名がつけました。



OY

ナズナ

アブラナ科

分布：日本全土

花の時期：3月～6月

「ペンペン草」としてよく知られています。果実の形が三角で、三味線のばちになているところから、こうよばれています。春の七草のひとつです。

トピック2

はる ^{ななくさ} 春の七草

春の七草といえば、七草粥として食べたことがある人も多いと思いますが、どんな植物なのか知っていますか？「せり なずな ごぎょう はこべら ほとけのざ すずな すずしろ」と古くから歌われていますが、正式な名前とはちがった言い回しをされているものもあります。

せり→セリ (セリ科) 春にみられる植物 (27 ページ)

なずな→ナズナ (アブラナ科) 春にみられる植物 (32 ページ)

ごぎょう→ハハコグサ (キク科)

はこべら→ハコベ (ナデシコ科)

ほとけのざ→コオニタビラコ (キク科)

すずな→カブ (アブラナ科)

すずしろ→ダイコン (アブラナ科)



せり



ナズナ



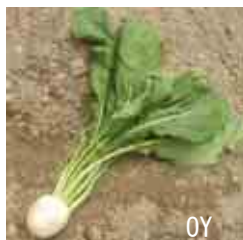
ハハコグサ



ハコベ



コオニタビラコ



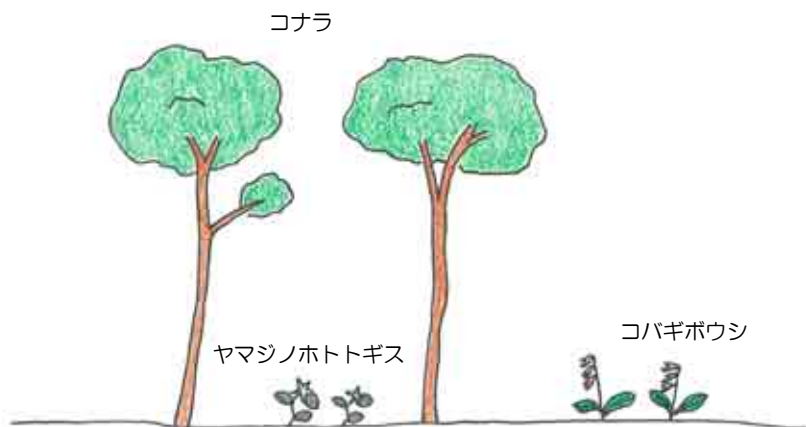
カブ



ダイコン

なつ 夏にみられる ^{しょくぶつ} 植物

はやし **コナラの林**



なつ 夏のコナラの ^{はやし} 林は、たぐさ
んの葉が開いて、屋根のよ
うになっています。でも、
^{はやし} 林の中は真っ暗ではなく、
^{しやしん} 写真のように、^は 葉のすき間
や葉を通して ^は 光が入って
きて ^{あか} 明るいです。



^{はやし} ^{なか} 林の中のようす



SK

ヤマジノホトトギス

ユリ科

ぶんぶ ほっかいどうせいなんぶ きゅうしゅう
分布：北海道西南部～九州

はな じ き
花の時期：8月～10月

「ホトトギス」とついでに
植物の花には、赤むらさき色
の斑点があり、これを鳥のホ
トトギスのおなかの斑点に
見立てたそうです。



NO

コバギボウシ

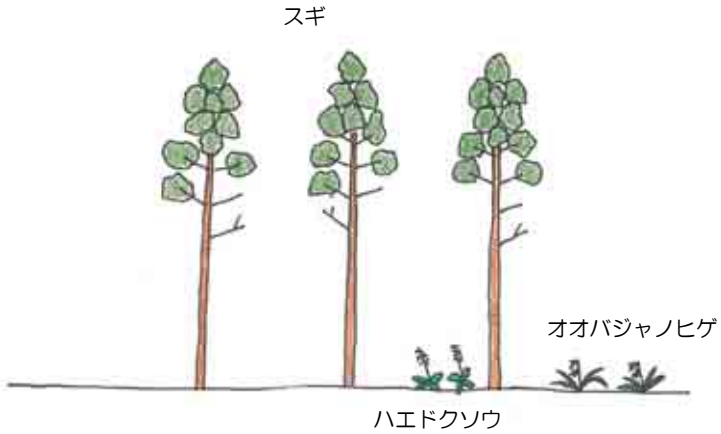
ユリ科

ぶんぶ ほっかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

はな じ き
花の時期：7月～8月

はやし なか は
林の中に生え、こいむらさき
いろ はな さ
色の花が咲きます。若芽は
わかめ
おひたしにして食べられます。

はやし
スギ・マツの林



はやし ねんじゅうは しげ
スギの林は、年中葉が茂
っているので、1年中うす
ねんじゅう
くらくら はやし したは ややしめ
ています。スギの林の中は、
はやし なか
ていぼく すく
低木が少なく、やぶがひ
どくないので、きゅうけい
は涼しくていいかもしれま
せん。

はやし なか
林の中のようす



OY

オオバジャノヒゲ

ユリ科

分布：本州～九州

花の時期：7月～8月

白い花がおわると、紺色の実のようにみえる種がつきます。この種はよくはずむので、なげてあそんだりします。



OY

ハエドクソウ

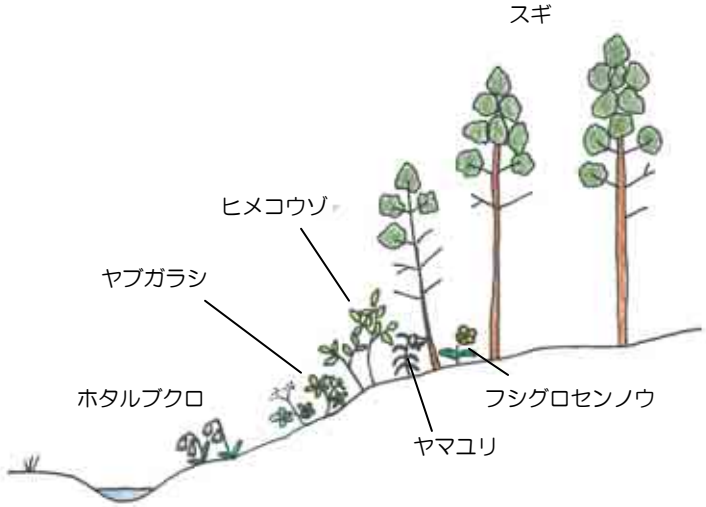
ハエドクソウ科

分布：北海道～九州

花の時期：7月～8月

根を煮詰めた汁でハエとり紙をつくったところから名がつきました。実は服によくくっついて、やっかいです。

はやし
林のまわり



ヒメコウゾ

クワ科

分布：本州・四国・九州

花の時期：4月ー5月

落葉低木。花は4～5月に咲き、6～7月に赤色の実がなり、甘くておいしいです。



MH

フシグロセンノウ

ナデシコ科

分布：本州～九州

花の時期：7月～10月

林の中の少し湿ったところで、オレンジ色のかわいらしい花を咲かせます。「クルマバナ」ともよばれています。



SK

ヤマユリ

ユリ科

分布：東北～近畿

花の時期：7月～8月

黄色いすじが入った白い大きな花とむせかえるほどのにおいで、夏の野山でひときわ目立っています。



OY

ヤブガラシ

ブドウ科

分布：北海道西南部～琉球

花の時期：6月～8月

地下茎を長くのばして、やぶを枯らしてしまうほど、よく茂るところから名がつけました。



NO

ホタルブクロ

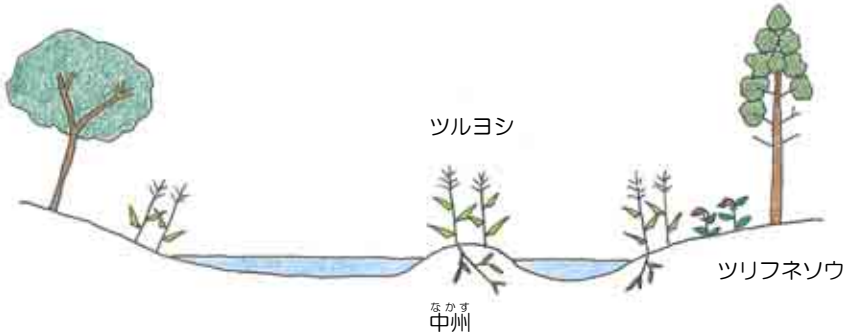
キキョウ科

分布：北海道西南部～九州

花の時期：6月～7月

名前の由来は、ぶら下がって咲く花をちょうちんにみたてたという説と子どもが花の中にホタルを入れて遊んだという説があります。この花が咲く頃には、ホタルも飛び始めます。

ネムノキ



ツルヨシ

イネ科

分布：本州～九州・琉球

花の時期：8月～10月

葦簀をつくるヨシに比べて、ツルヨシは地面をはうような枝をだします。

0Y



地面をはっている枝

ヨシ→



日よけに使われる葦簀



NO



OY

ネムノキ

マメ科

分布：本州～琉球

花の時期：7月～8月

暗くなると葉がとじて眠ったようにみえるところから名がつけました。



OY



OY

ツリフネソウ

ツリフネソウ科

分布：北海道～九州

花の時期：8月～10月

船のような形をした赤むらさき色の花をつけます。大滝根川流域には黄色い花をつけるキツリフネもみられます。

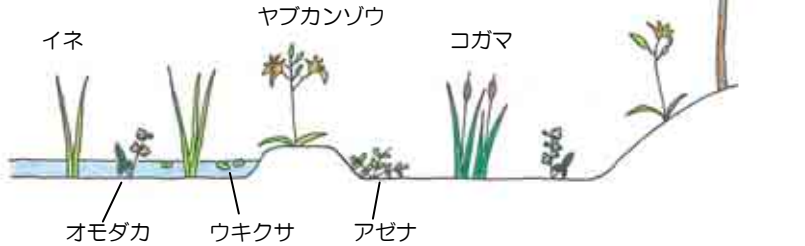
キツリフネ

た
田んぼ

た
田んぼ



ぎゅうこうでん
休耕田



ウキクサ

ウキクサ科

分布：日本全土

花の時期：8月－9月

田んぼや池などでみられます。基部から芽を出してふえるので、ふつうは3～5個くっついたような形になっています。写真の大きいほうです。



OY

アゼナ

ゴマノハグサ科

ぶんぶ にほんぜんど
分布：日本全土

はな じき
花の時期：8月－10月

たんぼ いけのほりなど しめつ
たところ はに むす。葉は向
かい あって つき ますが、くき
の したの ほうから すご とに 90度 ず
つ ずれて、たが ちが いに つき ま
す



OY

オモダカ

オモダカ科

ぶんぶ ほつかいどう りゅうきゅう
分布：北海道～琉球

はな じき
花の時期：8月－10月

は かたち とくち や がた
の かたち が とく ち や が た
い や じ る し か た ち
て い ま す。



OY



0Y

コガマ

ガマ科

分布：本州・四国・九州

花の時期：6月－8月

休耕田やため池で見られます。大滝根川流域にはガマの仲間は、コガマ、ガマ、ヒメガマが生育しています。コガマは穂の長さが 10 cm 以下です。



NO

ヤブカンゾウ

ユリ科

分布：北海道～九州

花の時期：7月－8月

土手や田んぼのあぜなどにはえ、こいオレンジ色の花がよく自立ちます。若葉はおいしい山菜のひとつです。



NO

ツユクサ

ツユクサ科

分布：北海道～琉球

花の時期：7月－9月

夏に咲く青い花は少なく、このツユクサを道ばたや畑などでみかけると、とても涼しげです。



OY

ネジバナ

ラン科

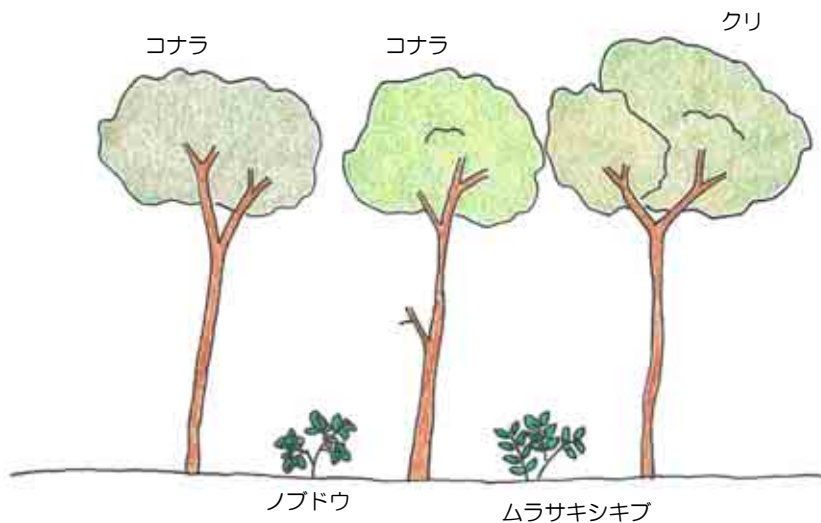
分布：北海道～九州

花の時期：4月－10月

名前のおり、花がねじれて咲きます。田んぼのあぜや公園の芝生の中で、ずっとまっすぐに立っている姿は、つい足をとめて見とれてしまいます。

あき 秋にみられる しよくぶつ 植物

はやし **コナラの林**



コナラの はやし 林は、あき 秋になると こうよう 紅葉して、やま 山は きいろ 黄色やオレンヂ色に変わります。写真 みぎした 右下の みどりいろ 緑色の木は き アカマツです。アカマツやスギは、あき 秋になっても こうよう 紅葉はせず、みどりいろ 緑色のままです。

0Y



0Y

コナラ

ブナ科

分布：北海道～九州

花の時期：4月～5月

実の時期：9月～10月

おおたきねがわりゅういき はやし だいひょう
大滝根川流域の林を代表する樹種です。秋に山へ行くと、コナラのドングリをたくさん見つけることができるでしょう。



0Y

コナラの樹皮じゅひ



SK

コナラの実み



OY

クリの^{はな}花

クリ

ブナ科

分布：^{ぶんぶ}北海道～^{きゅうしゅう}九州

花の時期：^{はな}6月～7月

実の時期：^み9月～10月

コナラとともに^{おおたきねがわりゅういき}大滝根川流域
の^{はやし}林を代表する^{じゅしゅ}樹種です。

野生の^{やせい}クリは^{つぶ}粒が小さいですが、^{あま}甘みがつよくておいしいので、みなさんも^{あき}秋はくりひろいでかけてみてはいかがでしょうかでしょう。



OY

クリの^{じゅひ}樹皮



OY

クリの^み実



NO

ノブドウ

ブドウ科

分布：北海道～琉球

花の時期：7月－8月

実の時期：10月－11月

ノブドウの実^みは、白^{しろ}いものから、水色^{みずいろ}、むらさきなどさまざまな色^{いろ}があり、とても美^{うつく}しいです。見た目^めはきれいですが食^たべられません。



OY

ムラサキシキブ

クマツヅラ科

分布：北海道～琉球

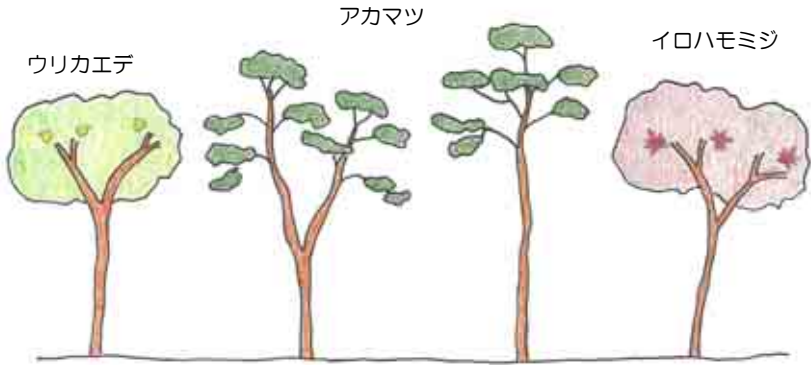
花の時期：6月－7月

実の時期：10月－11月

むらさき色^{いろ}の 3 mm くらいの小^{ちい}さな実^みをたくさんつけます。実^みは葉^はがなくなつたあともしばらく残^{のこ}ります。

ムラサキシキブ^みの実

はやし
スギ・マツの林



アカマツ

マツ科

ぶんぶ ほんかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

はな じき
花の時期：4月

み じき ころ
実の時期：10月頃

おおたぎねがわりゅういき やま ちょうじょう
大滝根川流域では山の頂上
ちか じゅひ あか
近くで見られます。樹皮は赤
ちいろ
茶色をしています。

0Y



アカマツの樹皮



アカマツの実



イロハモミジ

カエデ科

分布：本州（福島・福井県以南）～九州

花の時期：4月～5月

紅葉の時期：11月頃

秋に山へ出かけると、葉が真っ赤になっていて自立ちます。



イロハモミジの花



イロハモミジの実



ウリカエデ

カエデ科

分布：本州（福島県以南）～九州

花の時期：4月～5月

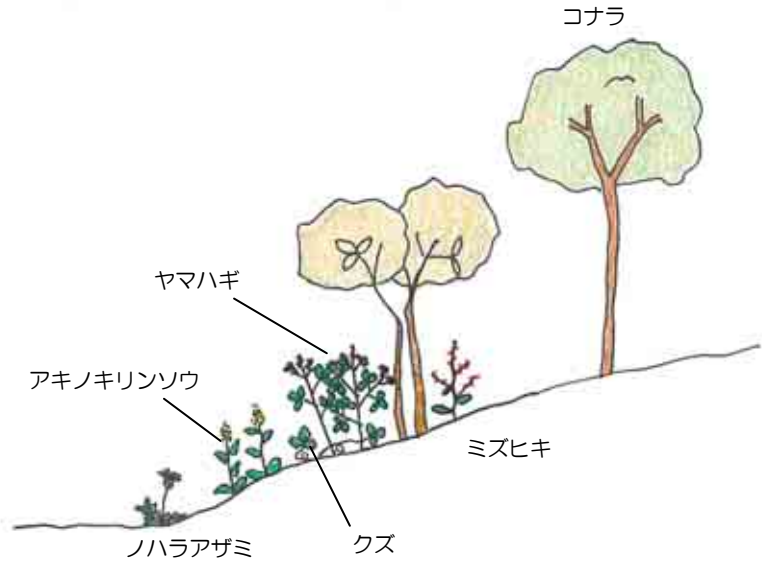
紅葉の時期：11月頃

カエデとありますが、葉は切れないで卵形のものもあります。写真のピンク色は実です。



ウリカエデの実

ほやし
林のまわり



ミズヒキ

タデ科

ぶんぷ にほんぜんど
分布：日本全土

はな じき
花の時期：8月－10月

うえがわ まい はな あか
上側3枚の花びらが赤くて、
したがわ まい はな しろ ようす
下側1枚の花びらが白い様子
をみずひき (ごしゅうぎぶくろ むす こうはく
の紙でつくられた糸のこと)
にたとえて名がつけました。



NO

ヤマハギ

マメ科

分布：^{ぶんぶ}北海道～^{きゅうしゅう}九州

花の時期：^{はな}7月－^{じき}9月

秋の七草に「ハギ」とありますが、ハギという植物はなく、多くはこのヤマハギをさしています。



NO

クズ

マメ科

分布：^{ぶんぶ}北海道～^{きゅうしゅう}九州・^{あまみ}奄美

^{しよとう}諸島

花の時期：^{はな}8月－^{じき}9月

根からとったデンプンはくず粉として知られています。秋の七草のひとつです。



0Y

アキノキリンソウ

キク科

分布：北海道～九州

花の時期：8月～11月

さまざまなところに生えて、
直径1.5 cm くらいの黄色い
花をつけます。



0Y

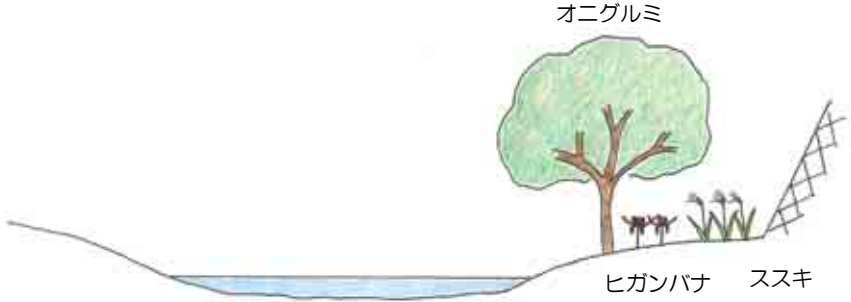
ノハラアザミ

キク科

分布：本州の中北部

花の時期：8月～10月

アザミの仲間はにているもの
が多いですが、秋によく見ら
れるのはノハラアザミです。



OY



OY

オニグルミの若い実

オニグルミ

クルミ科

分布：北海道～九州

花の時期：5月～6月

実の時期：9月～10月

おおたきねがわりゅういきのやま
大滝根川流域の野山でクルミ
の実が落ちているのをみつけ
たら、オニグルミでしょう。秋
はリスたちがきれいに食べた
からを見つけれられるでしよ
う。





NO

ススキ

イネ科

ぶんぶ ほっかいどう りゅうきゅう
分布：北海道～琉球

はな じき
花の時期：8月～10月

ススキというと、十五夜のお
つきさまをイメージする人が多
いでしょうが、銀色の穂が月
あかりにかがやいてみえるの
はとてもきれいですね。



SK

ヒガンバナ

ヒガンバナ科

ぶんぶ ほっかいどう りゅうきゅう
分布：北海道～琉球

はな じき
花の時期：9月頃

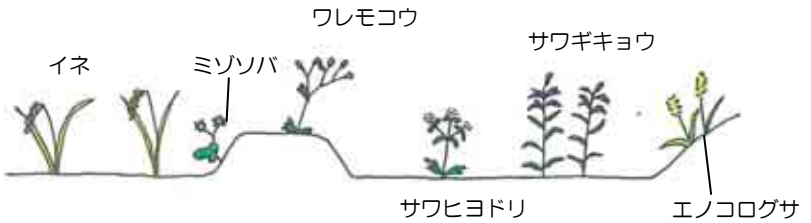
あき かわら た
秋に川原や田んぼのあぜを真
っ赤にいろどっています。草
全体に毒があつて、モグラや
ネズミから田んぼのあぜを守
ってくれます。

た
田んぼ

た
田んぼ



きゅうこうでん
休耕田



NO

ミゾソバ

タデ科

ぶんぶ ほっかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

はな じき
花の時期：7月～10月

た 田んぼのあぜやかわらなど、すこ
ししめ 湿ったところでふつうにみ
られます。ピンク色のコンペ
イトウのような花がかわいら
しいです。



OY

ワレモコウ

バラ科

分布：北海道～九州

花の時期：8月～10月

名前の由来はいろいろあり、そのうちのひとつに「吾亦紅」があります。花の色はくらい赤色なので、秋の田んぼで「わたしも紅いですよ」とアピールしているようすを想像してみるとおもしろいです。



OY

サワヒヨドリ

キク科

分布：北海道～琉球

花の時期：8月～10月

湿ったところに生えます。花はうすいむらさき色で、白い花もあります。



NO

サワギキョウ

キキョウ科

分布：北海道～九州

花の時期：8月～9月

山地の湿ったところにあつま
って生えます。花はこいむら
さき色で高さが1 m くらいに
なりますので、よく自立しま
す。



OY

エノコログサ

イネ科

分布：日本全土

花の時期：8月～11月

「猫じゃらし」として知られて
います。よくにているアキノ
エノコログサは穂が大きく、
たれさがっているものです。



OY

オオイヌタデ

タデ科

ぶんぶ ほっかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

はな じ き
花の時期：6月～10月

みち かわら はたけ
道ばたや川原、畑などでふつ
うにみられます。花はうすい
ピンク色のものや、白いもの
があります。



OY

ナギナタコウジュ

シソ科

ぶんぶ ほっかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

はな じ き
花の時期：9月～10月

はな かたち
花の形がナギナタににている
ところから名がつけました。
くさぜんたい ひとつとく へん
草全体に独特の変なおいが
します。



0Y

メヒシバ

イネ科

分布：日本全土

花の時期：7月－11月

道ばたや空き地、畑などでふつうにみられます。



0Y

イヌビエ

イネ科

分布：本州～琉球・小笠原

花の時期：8月－10月

畑や田んぼ、道ばたなどでふつうにみられます。「ヒエ」とついていても、イヌビエは食べられません。食べられないものには、「イヌ」や「ウマ」など、動物の名前がついたものが多いです(例：イヌザンショウ、ウマノミツバ)。

トピック3

秋の七草

春の七草は、七草を食べて無病息災を祝うものですが、秋の七草は花がきれいなもの多くて、ながめて楽しむものです。

萩→ヤマハギ (マメ科) 秋にみられる植物 (54 ページ)

尾花→ススキ (イネ科) 秋にみられる植物 (57 ページ)

葛→クズ (マメ科) 秋にみられる植物 (54 ページ)

撫子→カワラナデシコ (ナデシコ科)

女郎花→オミナエシ (オミナエシ科)

藤袴→フジバカマ (キク科)

桔梗→キキョウ (キキョウ科)



ヤマハギ



ススキ



クズ



カワラナデシコ



オミナエシ



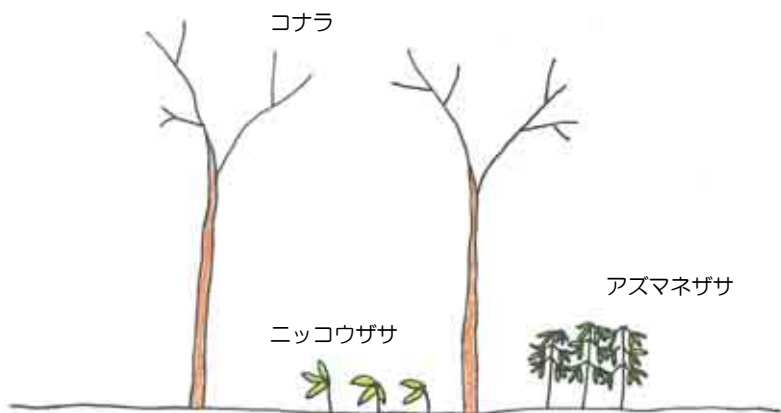
フジバカマ



キキョウ

冬にみられる植物

コナラの林



コナラは、秋になると紅葉して、冬には葉を落とします。スギは冬になっても緑色をしていますが、葉はずっと生きているのではなく、枯れると落ちます。でも、いっせいに落ちるわけではないので、冬でも木全体は緑色です。



OY



ニッコウザサ

イネ科

ぶんぶ ほっかいどうほんしゅうたいへい
分布：北海道・本州の太平
ようがわしこくきゅうしゅう
洋側・四国・九州

コナラの^{はやし}林の中や^{なか}林のまわり
に生えている、^{はやし}葉の大きさが
15～20 cm くらいのササです。
^は葉の大きさが
^{おお}15～20 cm くらいのササです。



OY



アズマネザサ

イネ科

ぶんぶ ほっかいどうなんぶほんしゅうちゅうぶ
分布：北海道南部～本州中部

りんない^{はやし}林内や林のまわり、^{かわら}川原などで
ふつうにみられます。^は葉は
なが^{なが}長さが15～25 cm くらいで、
^{はば}幅が2 cm くらいです。



NO

フユノハナワラビ

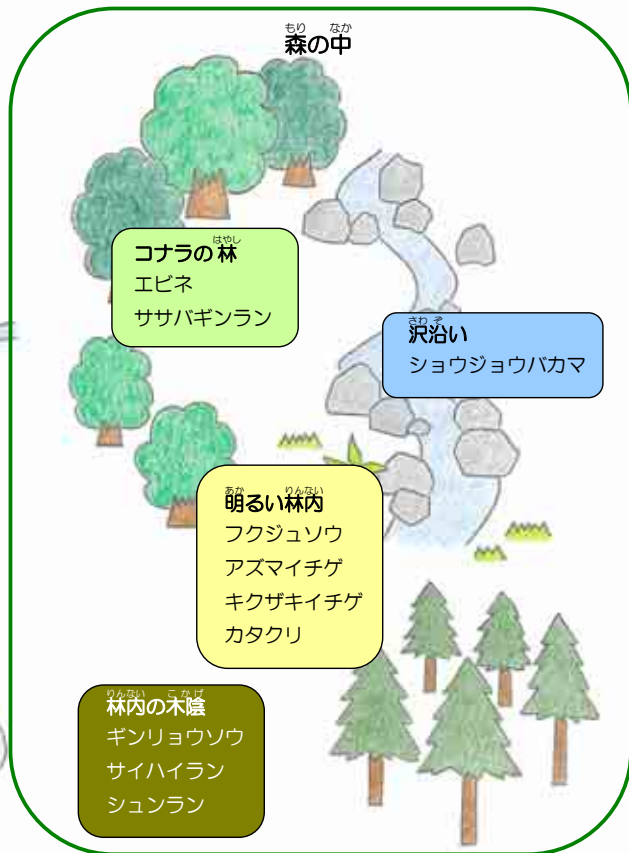
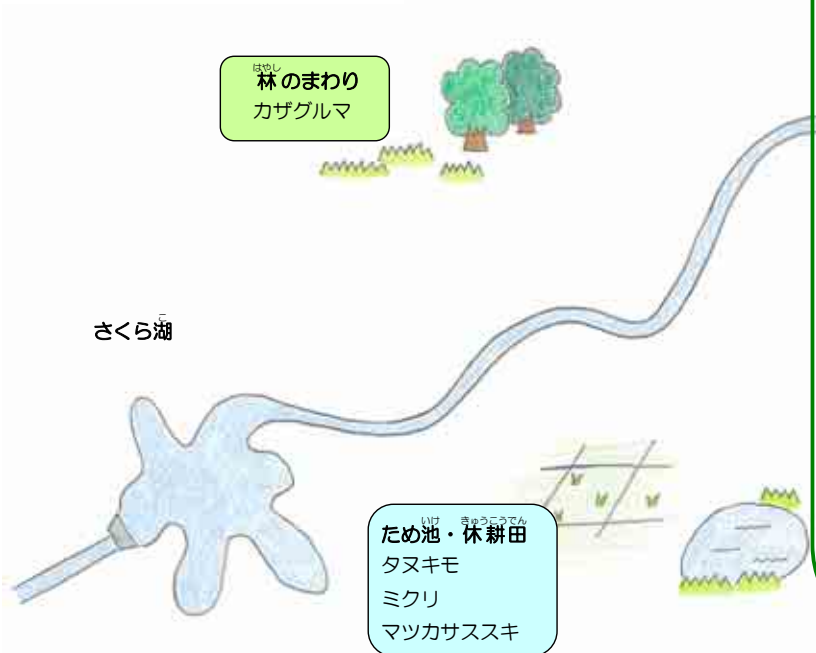
ハナヤスリ科

分布：^{ぶんぷ}北海道・^{ほっかいどう}本州・^{ほんしゅう}四国・^{しこく}九州

^ひ自^あ当^たたりの^よ良い^{さんち}山地や^た田^{んぼ}んぼ
の^あぜ^などで^ふつ^ううに^みら^れれ
ます。

稀少な植物

大滝根川流域は、いたるところに林や小川があり、たくさんの自然があります。したがって、全国的には珍しくなってしまった植物をみる事ができるところがたくさんあります。





OY

フクジュソウ

キンポウゲ科

分布：北海道～九州

花の時期：3月～4月

雪どけ直後に咲かせる黄色い花はとても自立ちます。フクジュソウの花はパラボラアンテナのような形をしており、つねに太陽のほうをむいています。



MH

キクザキイチゲ

キンポウゲ科

分布：本州（近畿より北）・北海道

花の時期：3月～5月

雪どけ直後に花を咲かせます。花は白いものとむらさき色のものがあります。



MH

アズマイチゲ

キンポウゲ科

分布：北海道～九州

花の時期：3月～5月

雪どけ直後に白い花を咲かせます。キクザキイチゲとにていますが、葉は細かく切れ込まなくて丸いです。



NO

カザグルマ

キンポウゲ科

分布：本州・四国・九州

花の時期：5月～6月

花がおもちゃの風車にいてるところから名がつけました。日本の野草の中でいちばん花が大きい植物です。



ギンリョウソウ

イチヤクソウ科

分布：北海道～琉球

花の時期：4月～8月

草全体が真っ白で、光合成をしないので、根にすんでいる菌から養分をもらっています。見た目から「ユウレイタケ」ともいわれます。

OY





OY



タヌキモ

タヌキモ科

ぶんぶ ほつかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

はな じ き
花の時期：7月－9月

葉についた捕虫のうで小動物をとらえる食虫植物です。草全体は田んぼやため池などに浮いていて、そこから花茎をのばして、黄色い花をつけます。



OY

カタクリ

ユリ科

ぶんぶ ほつかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

はな じ き
花の時期：3月－5月

春、林の中でむらがって咲く様子は見事です。カタクリの地下茎からとったデンプンでつくったのが片栗粉ですが、市販の片栗粉のほとんどはイモからつくられています。



OY

ショウジョウバカマ

ユリ科

分布：北海道～九州

花の時期：4月～5月

山地の谷や沢沿いに生えます。ショウジョウバカマは種でふえる以外に、葉の先に小さな株をつくってふえます。



OY

ミクリ

ミクリ科

分布：北海道～九州

花の時期：6月～8月

小さな果実がクリのイガのように球形にあつまっていると、ころから名がつけました。池や沼などの浅い水中に生えます。



OY

マツカサススキ

カヤツリグサ科

分布：本州～九州

花の時期：8月～10月

日あたりのよい^{しっち}湿地に生えま
す。穂の形がまつぼっくりに
にているところから^な名がつけ
ました。



SK

エビネ

ラン科

分布：北海道西南部～琉球

花の時期：4月～5月

根がエビににているところか
ら^な名がつけました。花の色は
外側がむらさき色で中^{いろ}はうす
いピンク色ですが、^{へんか}変化が多
い^{おほ}いです。



OY

ササバギンラン

ラン科

分布：北海道～九州

花の時期：5月～6月

葉が細長く、ササににているところから名がつけました。



OY

サイハイラン

ラン科

分布：北海道～九州

花の時期：5月～6月

花は梅雨のころなので、花をみる機会は少ないかもしれませんが、葉はササのような大きな葉で、花がなくても自立ちます。



0Y

シュンラン

ラン科

分布：北海道～九州

花の時期：3月～4月

落葉樹林内に生えます。花は
外側が緑色で、中の花びらは
白くて赤むらさき色の斑点が
あります。

帰化植物

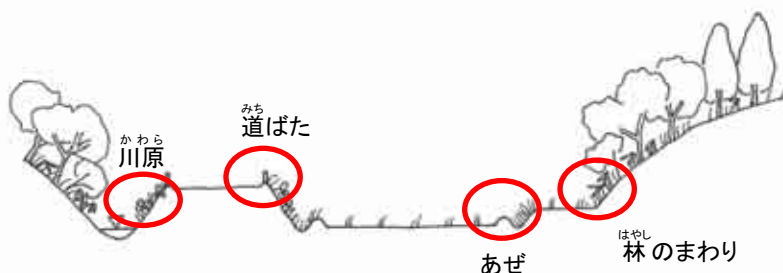
帰化植物とは？

私たちがふだん町中や道ばたで見かける植物の中には、もともと日本にあったものではなく、外国から入ってきた種類がたくさん含まれています。植物のなかで、江戸時代末期に鎖国がとけてから日本に入った植物を「帰化植物」とよんでいます。

最近では、セイタカアワダチソウやセイヨウタンポポなどの帰化植物は増加しており、空き地や川原、田んぼなどのいたるところで見られるようになりました。

帰化植物が多くみられるところは？

帰化植物は、人の手が加わっていない林の中ではほとんど見ることができません。多くみられるところは、林のまわりや道ばた、あぜ、川原などの不安定な立地環境で、大滝根川流域では、林のまわりや川原などで多くみられます。



おおたきねがわりゆういき き か しょくぶつ
大滝根川流域でみられる帰化植物

はやし
林のまわり



OY

ヒメジョオン

キク科

きた げんさん
北アメリカ原産

ぶんぶ にほんぜんど
分布：日本全土

はな じ き
花の時期：6月－10月

みち はやし たんぼ
道ばたや林のまわり、田んぼ
のあぜなどいたるところでみ
られます。はなはしろいろ
すいむらさきいろ
花は白色またはう
すいむらさき色です。



OY

ハルジオン

キク科

きた げんさん
北アメリカ原産

ぶんぶ にほんぜんど
分布：日本全土

はな じ き
花の時期：4月－8月

ヒメジョオンとまざって、い
たるところでみられます。ハ
ルジオンはくき なか くうどう
茎の中が空洞で、
つぼみの頃の はな
つぼみの頃の花はうなだれま
す。

78



←エゾタンポポの花
花の下の緑色の部分がめくれない

セイヨウタンポポ

キク科

きた げんさん
北アメリカ原産

ぶんぶ にほんぜんど
分布：日本全土

はな じき ねんじゅう
花の時期：年中

さいきん
最近みられるタンポポのほと
んどが、このセイヨウタンポ
ポです。もともと日本にある
タンポポのうち、大滝根川
りゅういき
流域でみられるのは、エゾタ
ンポポです。

ヨウシュヤマゴボウ

ヤマゴボウ科

きた げんさん
北アメリカ原産

ぶんぶ にほんぜんど
分布：日本全土

はな じき
花の時期：6月－9月



SK

じゅく み ま ぐろ
熟した実は真っ黒で、つぶす
とあか しる
と赤い汁がでます。また、実が
じゅく あか
熟したときの茎は赤むらさき
いろ
色になります。



OY

ヒメムカシヨモギ

キク科

きた げんさん
北アメリカ原産

ぶんぶ ほんぜんど
分布：日本全土

はな じき
花の時期：8月－10月

あき ち かわら
空き地や川原などでふつうに
みられます。たか
高さは1～2m
になり、茎にはけ
毛がいっぱい
あります。



NO

セイトカアワダチソウ

キク科

きた げんさん
北アメリカ原産

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

はな じき
花の時期：10月－11月

かわら あれち
川原や荒地などでふつうに
みられます。セイトカアワダチ
ソウは、まわりの植物の生長
を邪魔する物質をだすので、
いちど
一度セイトカアワダチソウが
は
生えると、ものすごいきお
いでふえます。



NO

オオブタクサ

キク科

アメリカ^{げんさん}原産

分布：日本^{ぜんど}全土

花^{はな}の時期^{じき}：8月－9月

川原^{かわら}や空き^あ地^ちなどでふつうにみられます。茎^{くき}は毛^けが^お多^おく、高^{たか}さは3 mにもなります。クワモドキともいわれ、葉^はの形^{かたち}がクワ^かに^あって^いま^す。花^{はな}粉^{ふん}もた^くさん^で出^でま^す。



OY

アメリカセンダングサ

キク科

北^{きた}アメリカ^{げんさん}原産

分布：本^{ほん}州^{しゅう}～九^{きゅう}州^{しゅう}

花^{はな}の時期^{じき}：9月－10月

道^{みち}ばた^かや川^{かわ}原^らなどでふつうにみられます。この花^{はな}の種^{たね}は^き先^{さき}が^かぎ^{じょう}状^{じょう}になっ^てい^て、服^{ふく}な^どによ^くく^つつ^きま^す。



NO

アレチウリ

ウリ科

北アメリカ原産

分布：日本全土

花の時期：8月－9月

川原や荒地などでふつうにみられます。この実のとげは細くて毛のようで、服の中に入れてきてささるためやっかいです。



アレチウリの花



アレチウリの実



SK



シロツメクサ

マメ科

ヨーロッパ^{げんさん}原産

分布：日本全土^{ぶんぶ にほんぜんど}

花の時期：5月－10月^{はな じ き}

「クローバー」としてよく知られて^しいます。みなさんも四つ^よ葉のクローバーさがしをしたことが一度^{いちど}くらいはあるのではない^はでしょうか。



SK



ムラサキツメクサ

マメ科

ヨーロッパ^{げんさん}原産

分布：日本全土^{ぶんぶ にほんぜんど}

花の時期：5月－8月^{はな じ き}

シロツメクサの^{はな}花をピンク^{いろ}色にしたような植物^{しよくぶつ}です。葉はシロツメクサより^{おお}大きくて、^{ほそなが}細長^{くき}いです。また、^ほ茎^けに毛^けが生えて^はいます。



OY

オランダミミナグサ

ナデシコ科

ヨーロッパ^{げんさん}原産

分布：本州^{ぶんぶ}～琉球^{ほんしゅう}・小笠原^{りゅうきゅう}

花の時期：4月－5月^{おがさわら}

道^{みち}ばたなどでふつうにみられます。花^{はな}びらに小^{ちい}さな切^きれ込み^こみがあります。



SK

ヒメオドリコソウ

シソ科

ヨーロッパ・小アジア^{やせい}に野生

分布：日本全土^{ぶんぶ} ^{にほん} ^{ぜんど}

花の時期：4月－5月^{はな} ^{じき}

道^{みち}ばたや畑^{はたけ}などでふつうにみられます。上^{うへ}のほうの葉^はは赤^{あか}むらさき色^{いろ}でピンク色^{いろ}の小^{ちい}さな花^{はな}をつけます。



0Y

オオイヌノフグリ

ゴマノハグサ科

ヨーロッパ^{げんきん}原産

分布：日本^{ぶんぷ}全土^{にほんぜんど}

花^{はな}の時期^{じき}：3月－4月

雪^{ゆき}がとけて地面^{じめん}がみえて、この青^{あお}い小^{ちい}さな花^{はな}が咲^きき出^だすと、春^{はる}が来^きたというかんじがします。



0Y

ムシトリナデシコ

ナデシコ科

ヨーロッパ^{げんきん}原産

分布：日本^{ぶんぷ}全土^{にほんぜんど}

花^{はな}の時期^{じき}：5月－7月

茎^{くき}の節^{ふし}から出^でる粘^{ねん}液^{えき}で虫^{むし}をつかまえてしまうところから名^ながつけました。



0Y

メマツヨイグサ

アカバナ科

きた^{きた}アメリカ^{げんさん}原産

ぶんぶ^{ぶんぶ}にほん^{にほん}ぜんど^{ぜんど}

花の時期^{はな}：6月－9月

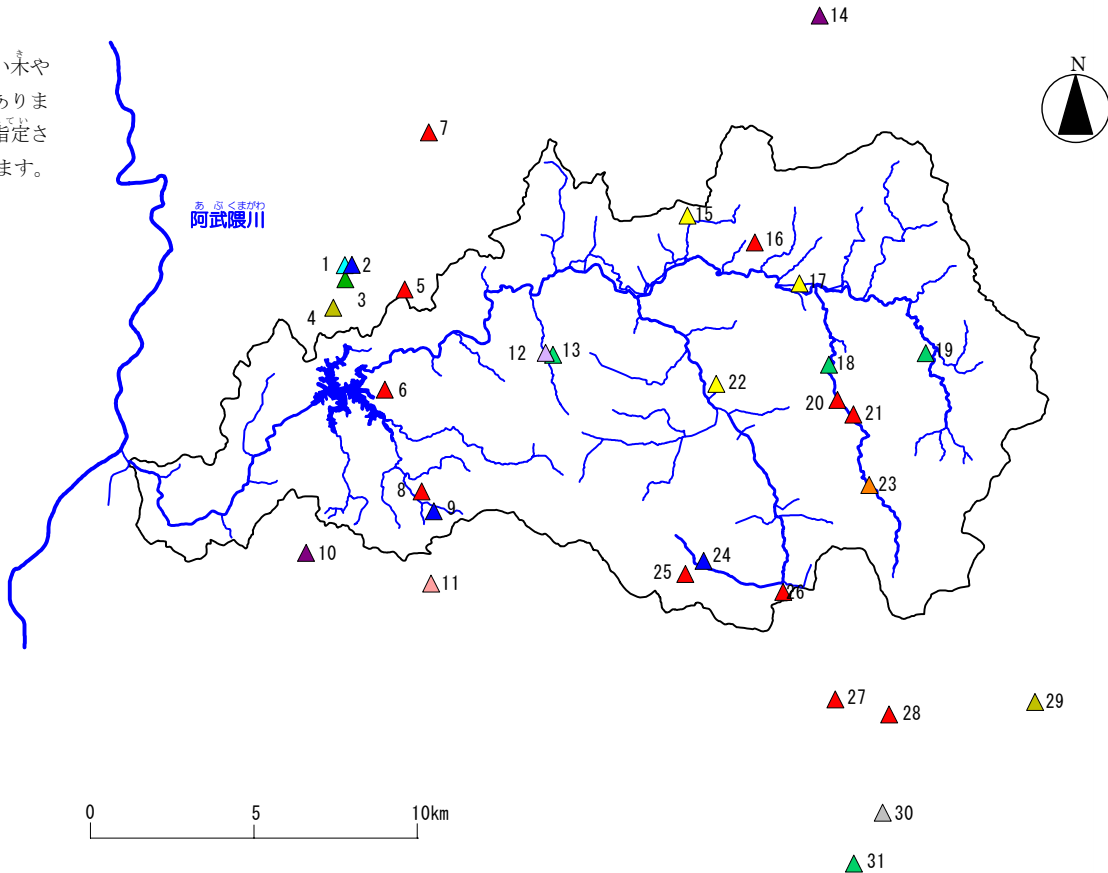
みち^{みち}ばた^{ばた}や^やあれち^{あれち}、かわら^{かわら}などでみ
られます。レモン色^{いろ}の花^{はな}で、
ゆうがた^{ゆうがた}ひら^{ひら}いて、よくあさ^{よくあさ}はや^{はや}
ぼみます。

てんねんきねんぶつ き
天然記念物の木

おおたきねがわりのういき おおき き
大滝根川流域には、大きい木や
じゆれい おおき き
樹齢が大きい木がたくさんありま
す。ここでは、てんねんきねんぶつ してい
天然記念物に指定さ
れている木についてしょうかい
紹介します。

あ ぶ く ま の 川
阿武隈川

- 凡例(はんれい)
樹種によって色をかえました
- ▲ イチイ
 - ▲ イチョウ
 - ▲ イヌシデ
 - ▲ エドヒガン
 - ▲ カヤ
 - ▲ キャラ
 - ▲ ケヤキ
 - ▲ スギ
 - ▲ フジ
 - ▲ ブナ
 - ▲ マツ
 - ▲ モミ



No	じゆしゆ 樹種	めいしやう 名称	していべつ 指定別
1	イヌシデ	あたごじんじや 愛宕神社のイヌシデ	町
2	ケヤキ	あたごじんじや 愛宕神社のケヤキ	町
3	モミ	みはるだいじんぐう 三春大宮宮のモミ	町
4	ブナ	はくさんひめじんじや 白山比咩神社のブナ	町
5	エドヒガン	やそうちこうえん 八十内公園かもん桜	町
6	エドヒガン	みはるたき 三春滝ザクラ	国
7	エドヒガン	みなみなりた おおざくら 南成田の大桜	町
8	エドヒガン	べにしだれじぞう 紅枝垂地蔵ザクラ	市
9	ケヤキ	すがふねじんじや 宣布禰神社のケヤキ	市
10	カヤ	えびね おお 海老根の大カヤ	市
11	キャラ	なかたまちなかつがわ おお 中田町中津川の大キャラ	市
12	フジ	くまのだいごんげんどう ふじ 熊野大権現堂の藤	市
13	スギ	くまのだいごんげんどう すぎ 熊野大権現堂の杉	市
14	カヤ	ちやうほうじ 長法寺のかや	市
15	イチヨウ	かやまじんじや おお 鹿山神社の大イチヨウ	市
16	エドヒガン	だいこくてん おお 大黒天の大ザクラ	市
17	マツ	おとざわ おおかきまつ 音沢の大笠松	市
18	イチヨウ	こまつじんじや 子松神社のイチヨウ	市
19	スギ	みわたしじんじや もり 三渡神社の森	市
20	スギ	ひわしじんじや おとこ 日鷲神社の男スギ	市
21	エドヒガン	おいせさま あぶみずりいし 御伊勢様の鎧摺石	市
22	エドヒガン	わせがわたて 早稲川館ザクラ	市
23	イチヨウ	ちやうげんじ おお 長源寺の大イチヨウ	市
24	ケヤキ	まぎの やしろ もり 牧野「社の社」けやき	市
25	エドヒガン	えいせんじ さくら 永泉寺の桜	県
26	エドヒガン	べんてんざくら 弁天桜	市
27	エドヒガン	こうそうじ しだれざくら 剛叟寺の枝垂桜	市
28	エドヒガン	おおらいじんじや しだれざくら 大雷神社の枝垂桜	市
29	ブナ	せいこうらうだん ぶ な 精九郎壇と山毛櫨	市
30	イチイ	すわじんじや 諏訪神社のあかぎ	市
31	スギ	うさじんじや しんぼく 宇佐神社と神木	市



みはるだき
三春滝ザクラ

エドヒガン系^{けい}の紅枝垂^{べにしだれ}
桜^{ざくら}で、樹齡^{じゆれい}千年^{せんねん}余^{あまり}とい
われています。^{にほんさんだい}日本三大
桜^{ざくら}のひとつです。



べにしだれじそう
紅枝垂地蔵ザクラ

みはるだき
三春滝ザクラの子^こども
といわれる枝垂桜^{しだれざくら}で、
樹齡^{じゆれい}400年^{あま}余^りといわ
れています。桜^{ざくら}の下^{した}に
は地蔵堂^{じそうどう}があります。



えいせんじ さくら
永泉寺の桜

おおごえまち くり で えい せんじ
大越町 栗出の永泉寺
境内^{けいだい}にある枝垂桜^{しだれざくら}で、
樹齡^{じゆれい}430年^{しょうわ}といわれて
います。昭和30年^{しやうわ}に
ふくしまけん てんねん きねんぶつ
福島県の天然記念物に
して^い指定^じされました。

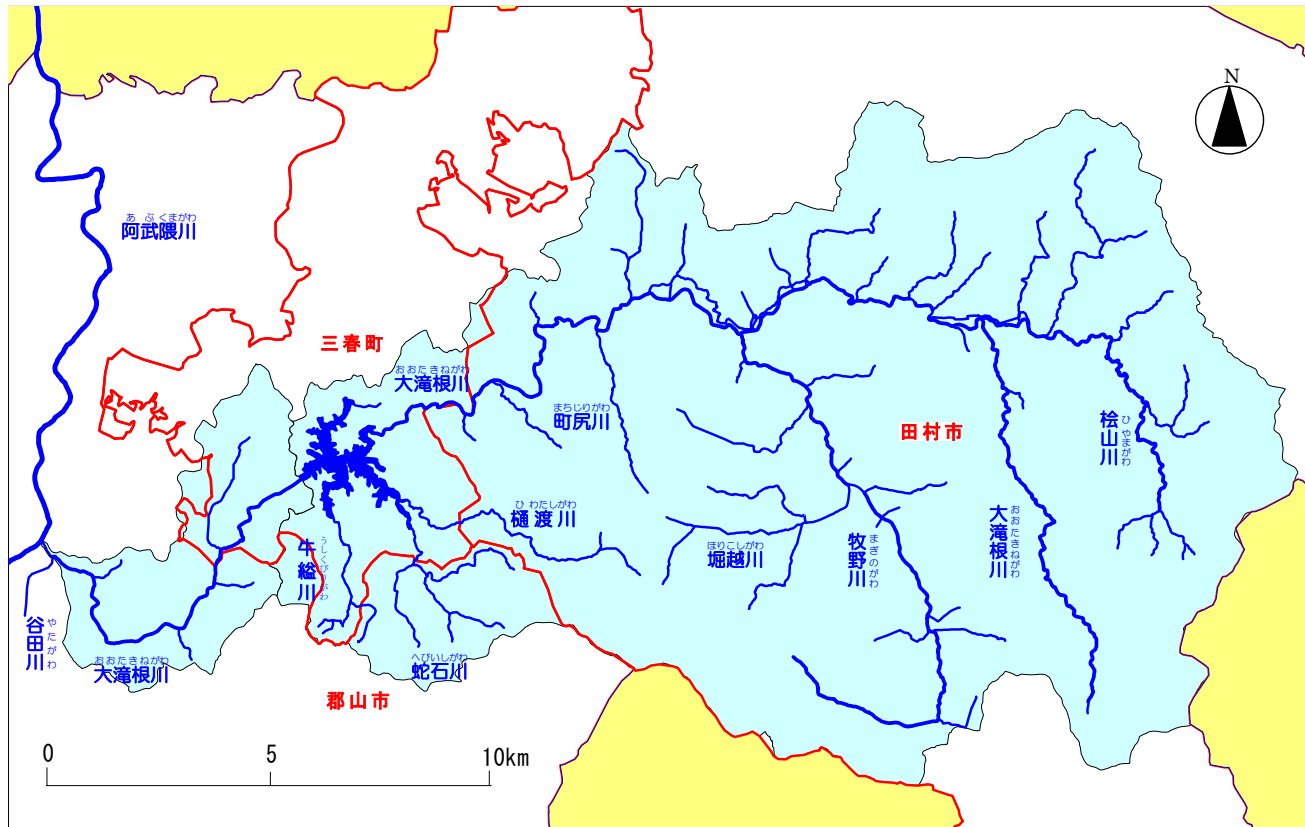
さくいん

	種名	科名	ページ	環境	季節
ア行	アカマツ	マツ科	51	スギ・マツの林	秋(実)
	アキノキリンソウ	キク科	55	林のまわり	秋
	秋の七草		63		秋
	アズマイチゲ	キンポウゲ科	70	希少な植物	春
	アズマネザサ	イネ科	65	コナラの林	年中(葉)
	アゼナ	ゴマノハグサ科	44	田んぼ	夏
	アメリカセンダングサ	キク科	81	帰化植物(川原)	秋
	アレチウリ	ウリ科	82	帰化植物(川原)	夏
	イタドリ	タデ科	23	林のまわり	春～夏
	イヌビエ	イネ科	62	畑	秋
	イロハモミジ	カエデ科	52	スギ・マツの林	秋(紅葉)
	ウキクサ	ウキクサ科	43	田んぼ	夏
	ウリカエデ	カエデ科	52	スギ・マツの林	秋(紅葉)
	ウワミズザクラ	バラ科	18	コナラの林	春
	エノコログサ	イネ科	60	田んぼ	秋
	エビネ	ラン科	74	希少な植物	春
	オオイヌタデ	タデ科	61	畑	夏～秋
	オオイヌノフグリ	ゴマノハグサ科	85	帰化植物(道ばた)	春
	オオジシバリ	キク科	29	田んぼ	春
	オオバジャノヒゲ	ユリ科	37	スギ・マツの林	夏
オオブタクサ	キク科	81	帰化植物(川原)	夏	
オニグルミ	クルミ科	56	川原	秋(実)	
オモダカ	オモダカ科	44	田んぼ	夏	
オランダミミナグサ	ナデシコ科	84	帰化植物(田んぼ)	春	
カ行	カザグルマ	キンポウゲ科	70	希少な植物	春
	カタクリ	ユリ科	72	希少な植物	春
	キクザキイチゲ	キンポウゲ科	69	希少な植物	春
	ギンリョウソウ	イチヤクソウ科	71	希少な植物	春～夏
	クサツテツ	イワデンダ科	26	川原	春
	クジャクシダ	ホウライシダ科	21	スギ・マツの林	春～秋(葉)
	クズ	マメ科	54	林のまわり	秋
	クリ	ブナ科	49	コナラの林	秋(実)
	ケキツネノボタン	キンポウゲ科	30	田んぼ	春
	コガマ	ガマ科	45	田んぼ	夏
	コナラ	ブナ科	17,48	コナラの林	秋(実)
	コバギボウシ	ユリ科	35	コナラの林	夏
サ行	サイハイラン	ラン科	75	希少な植物	春
	ササバギンラン	ラン科	75	希少な植物	春
	サワギキョウ	キキョウ科	60	田んぼ	秋
	サワヒヨドリ	キク科	59	田んぼ	秋
	シュンラン	ラン科	76	希少な植物	春
	ショウジョウバカマ	ユリ科	73	希少な植物	春
	シロツメクサ	マメ科	83	帰化植物(田んぼ)	春～秋
	スイバ	タデ科	24	林のまわり	春
	スギナ	トクサ科	31	畑	春
	ススキ	イネ科	57	川原	秋
	セイタカアワダチソウ	キク科	80	帰化植物(川原)	秋
	セイヨウタンポポ	キク科	79	帰化植物(林のまわり)	年中
セリ	セリ科	27	田んぼ	春(新芽)	

	種名	科名	ページ	環境	季節	
タ行	タガラシ	キンボウゲ科	28	田んぼ	春	
	タヌキモ	タヌキモ科	72	希少な植物	夏	
	タネツケバナ	アブラナ科	28	田んぼ	春	
	チガヤ	イネ科	29	田んぼ	春	
	チゴユリ	ユリ科	19	コナラの林	春	
	ツユクサ	ツユクサ科	46	畑	夏	
	ツリフネソウ	ツリフネソウ科	42	川原	夏	
	ツルヨシ	イネ科	25,41	川原	夏	
	ナ行	ナギナタコウジュ	シソ科	61	畑	秋
		ナズナ	アブラナ科	32	畑	春
ニッコウザサ		イネ科	65	コナラの林	年中(葉)	
ネコヤナギ		ヤナギ科	26	川原	春	
ネジバナ		ラン科	46	畑	夏	
ネムノキ		マメ科	42	川原	夏	
ノイバラ		バラ科	23	林のまわり	春	
ノハラアザミ		キク科	55	林のまわり	秋	
ノブドウ		ブドウ科	50	コナラの林	秋(実)	
ハ行		ハエドクソウ	ハエドクソウ科	37	スギ・マツの林	夏
	ハルジオン	キク科	78	帰化植物(林のまわり)	春～夏	
	春の七草		33		春	
	ヒガンバナ	ヒガンバナ科	57	川原	秋	
	ヒメオドリコソウ	シソ科	84	帰化植物(畑)	春	
	ヒメコウゾ	クワ科	38	林のまわり	夏	
	ヒメジョオン	キク科	78	帰化植物(林のまわり)	春～秋	
	ヒメムカシヨモギ	キク科	80	帰化植物(川原)	秋	
	フキ	キク科	24	林のまわり	春	
	フクジュソウ	キンボウゲ科	69	希少な植物	春	
マ行	フジ	マメ科	22	林のまわり	春	
	フシグロセンノウ	ナデシコ科	39	林のまわり	夏	
	フユノハナワラビ	ハナヤスリ科	66	田んぼ	冬	
	ホタルブクロ	キキョウ科	40	林のまわり	夏	
	ホトケノザ	シソ科	32	畑	春	
	マツカサススキ	カヤツリグサ科	74	希少な植物	秋	
	ミクリ	ミクリ科	73	希少な植物	夏	
	ミズヒキ	タデ科	53	林のまわり	秋	
	ミゾソバ	タデ科	58	田んぼ	秋	
	ムシトリナデシコ	ナデシコ科	85	帰化植物(道ばた)	春	
ヤ行	ムラサキシキブ	クマツツラ科	50	コナラの林	秋(実)	
	ムラサキツメクサ	マメ科	83	帰化植物(田んぼ)	春～夏	
	メヒシバ	イネ科	62	畑	夏～秋	
	メマツヨイグサ	アカバナ科	86	帰化植物(道ばた)	夏	
	ヤブガラシ	ブドウ科	40	林のまわり	夏	
	ヤブカンゾウ	ユリ科	45	田んぼ	夏	
	ヤマイヌワラビ	メシダ科	21	スギ・マツの林	春～秋(葉)	
	ヤマジノホトトギス	ユリ科	35	コナラの林	夏	
	ヤマツツジ	ツツジ科	19	コナラの林	春	
	ヤマハギ	マメ科	54	林のまわり	秋	
ワ行	ヤマブキ	バラ科	20	スギ・マツの林	春	
	ヤマボウシ	ミズキ科	18	コナラの林	春	
	ヤマユリ	ユリ科	39	林のまわり	夏	
	ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ科	79	帰化植物(林のまわり)	夏	
	ヨモギ	キク科	30	田んぼ	春(新芽)	
	ワレモコウ	バラ科	59	田んぼ	秋	

かんさつ
観察メモ

自分でみつけた植物の場所を記録しておきましょう。



かんさつ
観察メモ

A series of horizontal dotted lines for writing observations, arranged in approximately 22 rows.

参考文献

花のおもしろフィールド図鑑	(2001)	実業之日本社
しだの図鑑	(1986)	保育社
樹木、①、②	(1988)	保育社
日本の野生植物・草本Ⅰ～Ⅱ	(1993)	平凡社
日本の野生植物・木本Ⅰ～Ⅱ	(1993)	平凡社
日本の野生植物・シダ	(1993)	平凡社
野に咲く花	(1989)	山と溪谷社
山に咲く花	(1996)	山と溪谷社
野山の樹木	(2000)	山と溪谷社

写真提供

根本 紀 (NO)	真下 弘 (MH)
水野 伸彦 (MN)	さくら湖自然観察ステーション (SK)
田村市大越行政局地域振興課 (OG)	
国土交通省東北地方整備局 三春ダム管理所 (MD)	
応用地質株式会社 (OY)	

イラスト

田島 香雅 (TK) 影山 奈美子

文章

影山 奈美子

事務局

さくら湖自然環境フォーラム実行委員会
鈴木 武、長岐 岳彦、浅見 和弘

発行

さくら湖自然環境フォーラム実行委員会
〒963-7759 福島県田村郡三春町字大町 191
TEL. 0247-62-3837 FAX. 0247-62-4727



植物編

発行：さくら湖自然環境フォーラム実行委員会